

本日は「ご法名」について話をしたいと思います。ご法名というのは、会主さまがくださった尊い尊いご順序です。

しかし、皆さんの中にはご法名を頂いたから結果が出たとか、結果を頂きたいからご法名が必要だと思っている方がいると思います。勘違いをしてはいけません。

例えば身体のご法名を付けたから一生健康かということ、そんなことはありません。逆に皆さんが懺悔をしていないと、ご法名を頂いても苦勞をします。会主さまは「やっていない人はご法名をもらわない方が良い」とおっしゃいました。

さらに、皆さんが受け止めなければいけないのは「大悲生所善義起菩提心」という部分です。これは頼ってくる因縁に対して、ご法名のお慈悲によって菩提心を起こしてくださいねと伝えています。そして、それとともに読み上げている自分が足りないから、菩提心を起さしめたまえと自分自身に言っているのです。

「菩提心を起こすためには、懺悔です。懺悔によって菩提心が起きるのです」と会主さまはおっしゃいました。だからこそ、お経を朝夕上げて懺悔をし、お導きによつての懺悔をなささいということになるのです。これが妙智會です。ご法名を頂いてもお経を上げていない、導きもしていない。これはあり得ないんですよ。

そして、中にはご法名がお札（ふだ）のようなものだと勘違いしている人がいますが、それは違います。例えば陀羅尼經を車に置いてお札代わりにするなんてとんでもない話です。また入院した時、枕元にお経具を置いてあげるということもありますが、お札だから置きなさいという意味ではなく、それを見て今日まで自分が

しっかりとお経をあげていたのか、懺悔をしてきたのか、それを気づくためなのです。早く元気になって、このお経具を持って先祖供養をしたいという誓いをしましょうというために枕元に置きなさいと言っているのです。妙智會では、お札を皆さんに差し上げたことはありませんね。そのような勘違いをしてはいけないのです。

また、会主さまは「喜謝をすることによって、このご法名が生きるんだよ。喜謝をすることは菩提心を起こすことなんだよ」とおっしゃいました。喜謝とご法名によって、皆さんのその因縁が解決するのです。皆さんの心で喜謝をしてくださいとずっと言い続けているのです。

今日皆さんに伝えたかったことは、ご法名の「菩提心」には、そのものに対してとともに、自分に言ってるのだとわかって頂きたいということです。

妙智會ではお札やそういう何かに頼るようなものは差し上げません。差し上げているのはご本尊さま・総戒名・荒神さま、過去帳等々だけですよね。それは皆さんにおける大切なものだから差し上げてるのであって、それ以外はありません。これから大導師さまの大きな年回を迎えるからこそ、私はもう一度原点に戻したいので、こういう話をしました。

この話を聞いて、お札はないのかと思うかもしれませんが。ですが、そういうものではなく、皆さんの修行で、妙智會をやっていて良かった。今日も嬉しい、今日も楽しい。そう思っていただけのような教団にいたします。それを最後にお誓いして、本日の指導を終わります。ありがとうございました。